

2008 年岩手・宮城内陸地震緊急観測グループによる臨時余震観測

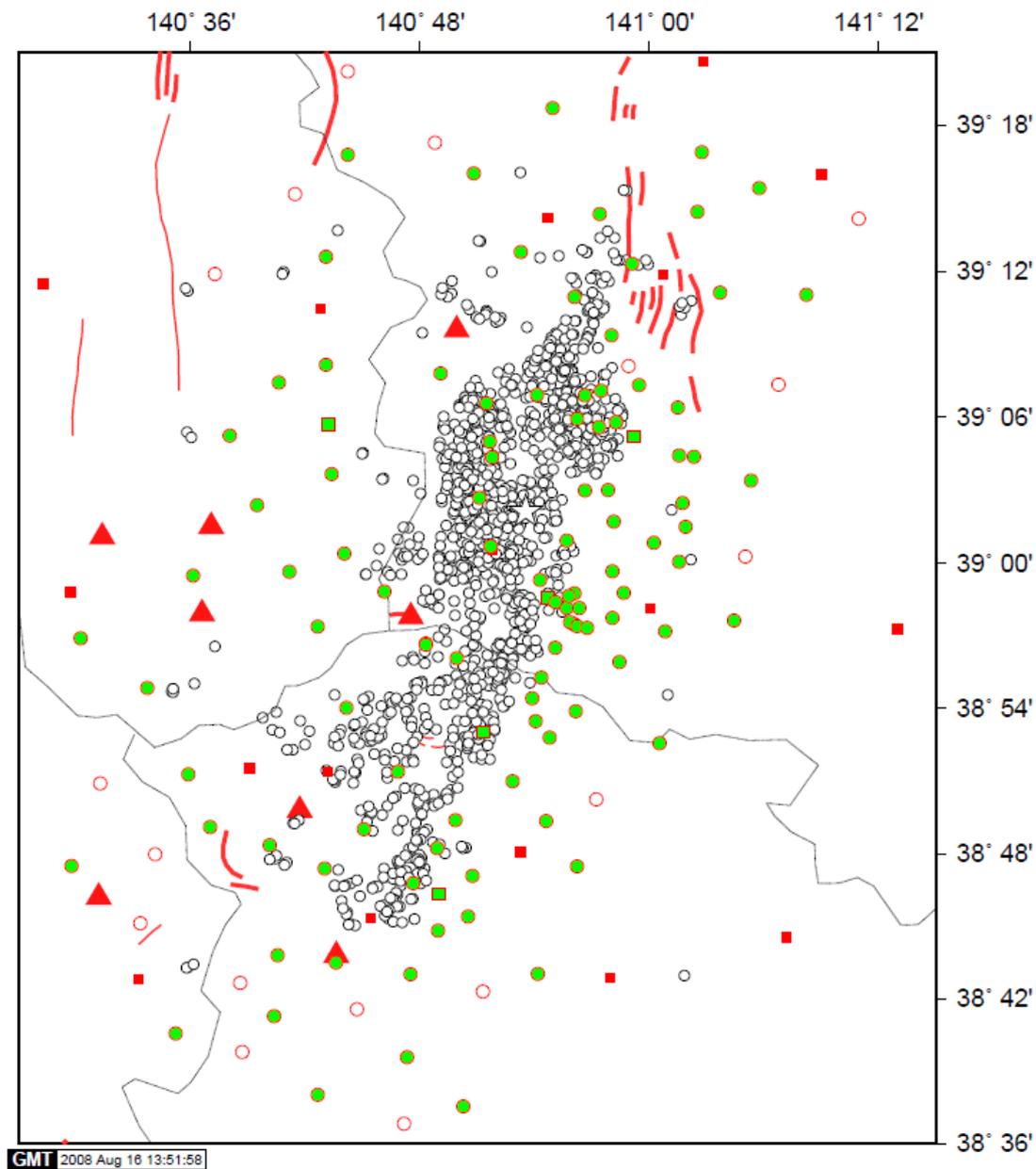


図1. 2008 年岩手・宮城内陸地震緊急観測グループ(*)による臨時余震観測点分布図(8/12 時点). 緑○はオフライン観測点, 緑□はオンライン観測点を示す. 赤○は7月中旬まで観測を行った観測点を示す. 赤□は気象庁・防災科学技術研究所・東北大によるオンライン観測点を示す.

小○, 大☆はそれぞれ東北大学自動処理による余震・本震を示す. 赤線は活断層, 赤▲は第四紀火山を示す.

謝辞: 本研究は防災科学技術研究所 Hi-net・気象庁・国立天文台水沢 VERA 観測所によるデータを使用しました. 東京工業大学が実施した臨時余震観測のデータを使用しました. また, 原子力安全基盤機構(JNES)が平成 19 年度, 20 年度に実施した内陸の活断層調査に基づく震源断層評価手法の検討事業で取得されたデータを使用しました.

*: 合同余震観測グループは, 北大・弘前大・東北大・東大・名大・京大・高知大・九州大・鹿大・防災科研の 10 機関.